

インフルエンザワクチンを受けられる方へ



インフルエンザとは

インフルエンザはインフルエンザウイルスの感染によって発症します。人に感染するインフルエンザウイルスは大きくA型、B型に分けられますが、これらのウイルスは毎年少しずつ変異するため、せっかくできた抗体も次の年には役に立たなくなってしまいます。インフルエンザに何度もかかるのはそのためです。流行のピークは12月から2月頃で、幼稚園や学校から流行が始まります。

インフルエンザのほとんどは自然に治癒します。しかし、乳幼児がインフルエンザに感染すると脳症を起こすことが明らかになり、毎年50～60名程度の発症があると言われています。その他にも肺炎や心筋炎を起こすことがあります。

インフルエンザワクチンの効果

ワクチンにはA型2種類、B型2種類の抗原が入っています。

感染予防効果は年によって違いますが、40～50%程度と言われています。

なお、集団生活においては予防効果がありますが、家庭内で発症した兄弟や両親からの感染を予防する効果はありません。

対象年齢

生後6ヵ月以上で幼稚園や保育所に通っているお子さんは接種をお勧めします。 集団生活をしていないお子さんでも接種は可能ですが、効果ははっきりしませんのでお勧めしていません。高齢の方は強く接種をお勧めします。

接種回数と間隔

3歳までのお子さんは2～4週間隔で2回接種して下さい。12歳を過ぎると1回接種で構いませんが、過去に1度もインフルエンザになっておらず、昨年度のワクチンを接種していないお子さんは2回接種をお勧めします。



※年長児では1回接種と2回接種で効果に差がありません。インフルエンザワクチンは高価なので、当院では1回接種に統一しています。受験前など、どうしてもということであれば2回接種もしています。

副反応について

一般的に副反応は軽微です。接種局所の反応が主であり、発赤、腫脹、疼痛をきたすことがありますが2～3日で消失します。発熱、頭痛、悪寒、倦怠感などもまれに起こります。

ワクチンを製造するときに微量ですが卵の成分が混入します。過去に卵を食べてショックを起こした人は接種できません。(卵のアレルギーがあっても通常は接種できます。)